

## 第1回青年技術士交流会 中国大会に参加しました

平成27年9月12日～13日にかけて行われました、「第1回青年技術士交流会中国大会 IN 山口」に島根県技術士会青年部として3人（大坂、長島、嘉藤）参加しました。

（島根県技術士会としては、岡山県より井上真さん、鳥取県から福元さんが参加されており実質5人が参加）

この大会は、平成26年に行われた「日本技術士会中国本部 青年技術士交流会 10周年記念大会」において、「中国5県の交流を深める」という提言を受けて実施され、青年技術士交流会のイベントとしてはおそらく初めて、5県の技術士が集まった交流イベントとなりました。記念すべき第1回大会は、大河ドラマ「花燃ゆ」と世界文化遺産登録で沸く山口県萩市と長門市で行われました。

テクニカルツアー編

テクニカルツアーとして世界遺産であり、明治維新～明治初期の偉人を育てた「松下村塾」と萩の城下町をめぐりました。

開会式は、スケジュールの都合上バス移動の中という慌しさです。



P1 開会の挨拶をする。  
山崎青年部会会長(山口)



P2 自己紹介する大坂青年部会会長

バスはスムーズに萩市内の松陰神社へ

松陰神社は吉田松陰を祭った社。その境内に松下村塾がありました。



P3 松陰神社の鳥居



P4 世界遺産 松下村塾  
思っていたよりも小さい。

明治維新と文明開化の礎となる松下村塾、吉田松陰ですが正直知識がなかったのですが、そんな不安を払拭する素晴らしいガイドさんの解説により、とても楽しいツアーとなりました。



P5 ツアーガイドの山根さん  
情熱のこもった話をされました。



P6 ガイドの話に外の観光客も立ち  
とまって聞いておられました。

ガイドさんの説明はとても素晴らしく、テクニカルツアー参加者だけでなくほかの観光客の方も説明を聞いておられ聴講者が1.5倍に増えました。

明治維新に、山口県に偉人が多く誕生した理由の一つに、長州藩は、武士の身分制度が厳しくなく志があれば誰もが学べる環境であったということで、やはり人材育成には、素晴らしい先生も必要ですが、学びやすい環境も大きな要因であることを学びました。

その後、吉田松陰の生家やお墓を經由して萩の城下町へ



P7 久坂玄瑞の像  
銅像がさしている方向は未来



P8 情緒あふれる萩の城下町

萩の城下町に残る木戸孝允（桂小五郎）宅、高杉晋作宅を回り、どっぷり明治維新につかりました。こちらでもガイドさんのわかりやすい説明により興味深く回れました。

ガイドさんは本当に、幕末の志士の皆さんのことを尊敬し愛していらっしゃるのだなと感じました。

熱心で解りやすいガイドの影響で翌日の大河ドラマを見てしまったことは言うまでもありません。





P9 木戸孝允宅 説明を受ける



P10 木戸孝允宅の松 ポンサイを  
庭に下ろして成長したとのこと。

萩の町では、萩の名産である夏みかんにまつわる話を聞くことができました。財政危機の萩に夏みかんが導入され、萩を救ったようです。当時は夏みかんの木が3本あれば、子供を私学に入れることができるというほど貴重なものだったようです。ちなみに日本で初めて「マーマレード」を作ったのは福沢諭吉だそうです。



P11 高杉晋作宅前 ここでもガイドさん  
の説明に外の観光客も足を止める



P12 何もなさそうな公園  
萩の危機を救った夏みかんの説  
明をするガイドさん。

## 交流編

続いて今回大会の最大の目的である中国5県技術士の交流をテーマに、温泉卓球大会と懇親会が長門市の長門温泉で開催されました。温泉卓球大会は、島根県技術士会青年部で行っている産学交流イベントでおこなったスポーツ交流会（ドッジボール）がきっかけとなり、今回が3回目となります。みんな馴れないスリッパ卓球に悪戦苦闘したり、本物張りの強烈スマッシュが炸裂したりして、白熱した大会となりました。島根県チームは善戦むなしく1回戦で敗退してしまい、優勝は広島Bチームでした。



P13 白熱する温泉卓球  
和やかな雰囲気ながらも真剣勝負



P14 勝利に沸く広島チーム  
広島のみんなは仲とノリがイイ！

卓球大会の後は懇親会スタート！まずは、各県の技術士会の活動報告。岡山県は、子供たちを対象とした科学イベントへの参加、広島県は全国大会の報告、小学生を対象とした科学イベントの開催等、山口県はテクニカルツアーの実施など、各県とも活発に活動されていることがわかりました。もちろん島根県も青年部の活動を報告され、11月開催の産学交流イベントのPRも行いました。



P15 中国本部の活動報告



P16 島根県の活動報告  
井上前会長もこのときは島根県

その後、各県の余興として、方言・マジック・組体操・オリジナルソング・踊りが披露されました。中でも山口県技術士会より、AKB48「恋するフォーチュンクッキー」がお披露目されました。おっさん一同ですが、なかなかのクオリティーでした。その後、中国5県の技術士も合わせてみんなで踊るといふ、非常に暑苦しい余興になりました。このみんなでAKBを踊ることは、山口県技術士会からのイベント開催の3日前にオファーが来ました。それでもみんながそこそこ踊ることができるという、技術士の真面目さがこんなところに現れていました。





P17 山口の皆さんのAKB  
衣装も買ってノリノリダンスです



P18 宴はこの後も続きました

その後も大盛り上がりで懇親会は夜遅くまで続きました。

ワークショップ「発泡スチロール橋づくり」

翌日は、ワークショップとして、限られた材料の発砲スチロールを用いて1時間30分と短い時間で製作する上に、デザイン賞と強度賞の2部門の評価が行われました。



P19 ワークショップが始まれば設計  
から真剣



P20 いろいろなデザインの橋が誕生  
あまった部材でも人も作成する遊び心

今回集まった技術士は建設部門の橋の専門家～衛生工学・情報工学と幅が広く、いろいろなデザインの橋が完成しました。

手作り感満載の実験装置を用いて強度測定が始まりました。つまり作った橋が壊れます。



P21 橋破壊実験装置



P22 橋破壊実験 左\_長島さん  
右\_大坂さん製作の橋

橋をつくり、その場で壊してみようという中々体験できない実験企画であり、これはみんなに興味を持ってもらえ、アクションのある面白い企画であると勉強になりました。

以上第 1 回大会は、山口県技術士会の皆さんの素晴らしい企画により大盛り上がりのうちに終了となりました。来年、鳥取県で行われる予定です。

東部の技術士の方がぐっと距離が近くなりますので、次回は多くの方が参加されるとありがたいです。

おまけ

帰りに、テクニカルツアーで伺う予定であった、世界遺産「萩反射炉」に立ち寄りました。萩反射炉は、日本の産業革命の礎となった鉄鑄造のための炉であり、現存するのは静岡県の韮山反射炉とこちらの 2 箇所しかないそうです。こちらの反射炉は、長州藩が悪戦苦闘して作った実験炉だったようで、近代化を目指した意気込みが伝わってくる建物でした。



P23 萩は世界遺産登録で祝福ムードで盛り上がってます



P24 萩反射炉